



上) 古都コレクションの  
きものショーに出演され  
た入柿さん。  
右) 鮎やかな着物がス  
タンバイする着物レンタル  
「和香菜」の店内。



昨年度は「2015京都・ミスキモノ」として活躍された入柿さん。生まれ育った丹後をPRする「第一六代プリンセス天橋立」を務める他、国産レンタル着物の店と和カフェ「茶寮 和香菜」を営むオーナーでもある。



お二人とお話をしても、私も一度着物を着てみたいになりました。今度コーディネートお願いします。

京都洛中の蔵元、佐々木酒造の若き社長。日本酒講座やイベントを通じて、新たな日本酒ファンを増やすことに努めている。

入柿 九月には高台寺で佐々木酒造さんと着物ショーを開催させていただきます。より多くの方に着物の魅力を感じてもらいたいです。

佐々木 晃さん 美しい着姿を京都の街に増やしたいと思います。

入柿 私は将来、和装のスタイルとなり、全国や世界で活躍したいです。最近、ヘアとメイクの学校にも通い始めました。レンタル着物ではお客様にコーディネートを提案し、より

佐々木 最後に、これからのお二人の取り組みをお教え下さい。

中川 先に、ゲストハウスの一角で、気楽に着物を着てお茶体験ができる企画をプロデュースさせていただき、海外や地方から来られた一人でも多くの方に着物の魅力を伝えたいと思ってます。自身もいつまでも着物について勉強したいと思います。

坂本龍馬を匿った材木商、酢屋の娘。千本銘木商会の銘木師、木材アドバイザー(IWA)である。

**お知らせ**  
第41回 京の夏の旅 高台寺  
~着物ショーと佐々木酒造の日本酒をたしなむ夕べ~  
9月10日(土) 17:30~(約2時間半) ※要予約  
[https://www.kyokanko.or.jp/natsu2016/natsutabi16\\_03.html#06](https://www.kyokanko.or.jp/natsu2016/natsutabi16_03.html#06)

頭川 今日は明るく、という気持ちの時は華やかに。眞面目な時はおとなしめに取り合わせします。

入柿 まずはTPOを考えます。お出かけの時は小紋で、季節に応じた柄を選びます。お洒落のポイントは帯揚げ。頭川さんと同様に気分で色彩を楽しみ、パーティーやお祝い事は松竹梅・宝尽くしなど縁起物の艶やかな訪問着や振袖を選びます。

中川 着物を着ることで、日常の所作は変わってきますか?

頭川 姿勢、歩き方など一つ

入柿 まずは丁寧になります。例えたもとを持つ仕草や階段を上り下りする時の裾の扱いなど女性らしくなりました。

小川 着物を通してどんな夢が広がりましたか?

佐々木 「ミスキモノ」「きもの女王」を経験されてからのご活動と変化を教えてください。

頭川 やはり着物を着る機会が多くなり、大好きになりました。受賞後は京都おもてなし大使として京都の素晴らしいものを全国に発信しています。また美容家として日本のおもてなし

の心、伝統文化、美容、健康を伝えるため日韓美容親善協会の理事に就任しました。

入柿 ミスキモノは和装振興と京都のPR活動を目的としています。その中で京都を代表する文化人、着物業界の方々と交流する機会を得て、着物の知識をより多く学べたことが国産の

レンタル着物事業を始めたきっかけとなりました。

中川 着物へのこだわりはそれでお持ちですか?

頭川 形式にこだわらず、洋服を選ぶ感じで、今日はラッキーカラーの帯揚げにしよう、襟は無地じやなくて柄に、といふように楽しみながら着るよう

入柿 基本的には着姿を美しくするために補正を丁寧にすることですね。ここをしっかりとおくと長時間着用しても着崩れが最小限に抑えられます。

小川 その日のお気持ちをどのようにお着物や取り合わせに反映されますか?



第39回 全国きものの女王  
頭川展子さん

2015京都・ミスキモノ  
入柿友香さん



雑誌で着物をプロデュース。頭川さんが日本フルボ酸総合研究所と開発したエイジングケアシャンプーは今年7月より発売中で、秋にもスキンケア商品を発売予定。右は美容トークショーの様子。

フルピュア F2a シャンプー

KIRINさんと一緒に考えさせていただいた、47都道府県一番搾りプロジェクト「京都づくり」も発売中です。



頭川さんは池坊短期大学在学中に「全日本きものの女王」を経験。第40回ミス日本関西地区代表。現在は京都市任命「京都おもてなし大使」として、また野菜料理や美容の研究家としても講演や全国誌で活躍。日韓美容親善協会の理事、京都の野菜を中心とした株式会社三京ファームの広報も務める。

京の着だおれを絵に描いたような着物  
美人、頭川展子さんと入柿友香さん。  
秋の月夜にも映えるお二人に、着物の  
魅力など伺つてきました。

日常的に楽しんで着物……  
ハレの日、ケの日、何れも  
が和の文化には大切な  
んですね。



「植治・小川治兵衛」の次代  
を担う作庭家。庭園に込められた  
思いの伝達に努める。